

- 1 研究主題 「主体的に考え,表現する児童をめざして」
 ～国語科の「書く」「話す」活動を通して～ 【国語】
 ～人とのつながりの中で考える道徳を通して～ 【道徳】

2 研究主題・副題設定の理由

昨年度は主題を「自ら学び、確かな力をつける子をめざして」、副題を「根拠をもとに表現する活動を通して」とし、国語科と算数科で研究を進めてきた。算数科では児童が主体的に課題を発見し根拠をもとに解決し、さらに活用問題に取り組む学習スタイルが出来上がった。国語科では説明的な文章と文学的な文章において単元を貫く言語活動を位置づけて、見通しをもった学び合いを行ってきた。みんなで学習したことを次の自分の学習に活かすという授業パターンを作ることはできた。しかし、全教員が確実に身に付けるまでには至らなかった。また、本校の昨年度の全国学力学習状況調査や評価問題（12月2月）の結果からも国語力の弱さ（特に長文読解）が浮き彫りとなった。

そこで、今年度は全学級で単元を貫く言語活動を位置づけた国語科の授業に重点を置いて取り組み、国語科の学力の定着を目指すこととした。児童が文章や情報を正しく受け取り、さらに自分の思いや考えを主体的に発信（書く・話す）できるために、文に触れる機会を増やすと同時に、目的に応じたペアグループ学習を取り入れる。そのことで、全員が学びの中心である授業を目指す。

また、今年度本校は「いしかわ道徳教育推進事業」の指定校であり、11月には公開授業を行う。確かな学力を支えるのは豊かな人間性である。道徳の重点項目を全学級「親切・思いやり」に統一し、学びの土台となる道徳教育にも並行して力を注いでいく。双方向の道徳参観や道徳だよりの発行により、これまで以上に家庭・地域と連携することで研究を深めていきたい。

	国語科では	道徳では	共通して
今年度のめざす児童像	根拠や叙述をもとに、自分の考えを書いたり話したりする子	友だちや地域・家庭の人と関わりながら、自分の思いを表現する子	言語活動の充実 (自分の考えや思いをしっかり伝える子)

3 研究の具体的な取組

(1) 授業力改善の主な取組

人とのつながりを中心とした道徳の授業

思いを表現する言語活動

- 主体的に道徳性を育むための指導
 - ・学習リーダーが進行する学習スタイル
 - ・グループ学習, ペア学習
- 問題解決的な学習など多様な方法を取り入れた指導
 - ・体験活動を取り入れる。
 - ・思考に働きかける有効なゆさぶり発問、切り返し発問
- 家庭や地域社会との連携
 - ・ゲストティーチャーの活用
 - ・保護者参加型の道徳の授業
 - ・リーフレットや道徳だよりの発行での双方向の交流
 - ・朝日中学校との合同研修

単元を貫く言語活動を位置づけた国語の授業

単元を貫く言語活動

- 単元計画
 - ・単元を貫く言語活動を行うため、見通しをもった1時間ごとの単元計画を立てる
- 教師による成果物の見本で見通し（相手意識・目的意識）
- 並行読書・先行読書
- 本時の課題をワークシートに予習
- 言語活動のパターン化
 - ・ABワンセット方式か入れ子方式を選択
- 叙述や根拠をもとに話し合い
 - ・全文掲示の活用
 - ・目的をもったグループ学習，ペア学習
 - ・学習リーダーの活用
- 成果物の交流

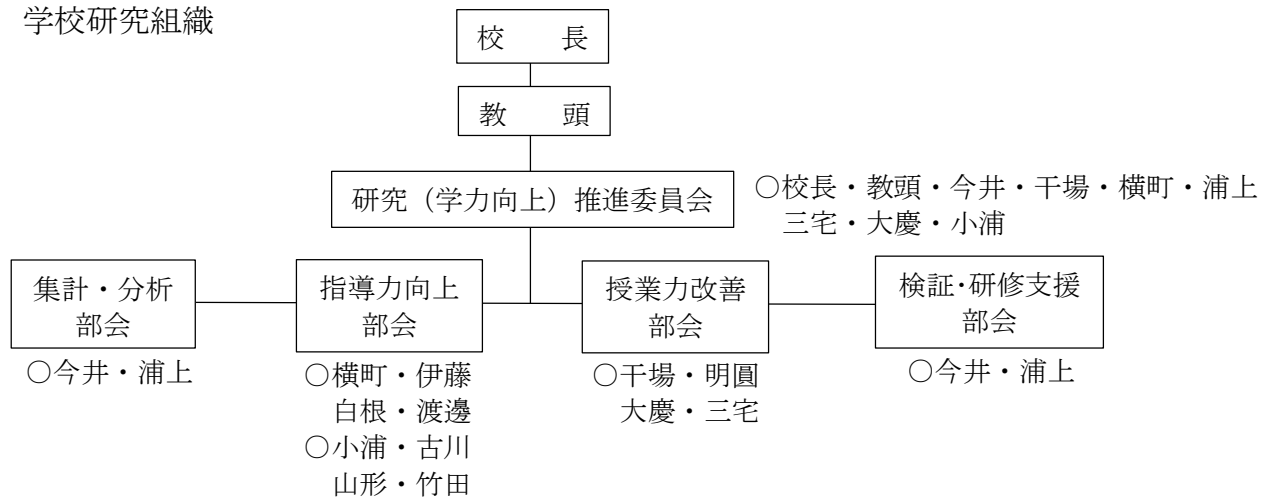
言語活動の土台

- 国語アイテムの活用
 - ・教室に掲示して利用
- 「言葉の宝箱」の活用
 - ・カード化していつでも使える状態に
 - ・生活ノートや連絡帳の一言感想でも活用
- 読書の推進
 - ・並行読書
 - ・水曜日の読み聞かせや読書
- 反応を返す（「話す」「聞く」の双方向で）

(2) 指導力向上の主な取組

	手立 て	取 組 内 容
スキルタイム	<ul style="list-style-type: none"> ・朝スキル・帰りスキル ・漢字検定 ・さんご樹教室 	<ul style="list-style-type: none"> ・朝は基礎問題，帰りは活用問題をさせる。 ・毎週木曜日に全校一斉に漢字テストをする。クラス平均95点以上は表彰。 ・長期休みに補充学習を行う。
家庭学習	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭学習の手引き ・徳丸ノート大作戦 ・よいノートの掲示 	<ul style="list-style-type: none"> ・やり方を示し，家庭の協力のもと力をつける。 ・自学ノートのよいものにスタンプを押し，ほめる。 ・自学ノートのよいものを廊下に掲示して広める。
意欲向上	<ul style="list-style-type: none"> ・ほめ言葉シャワー ・きらきらメッセージ 	<ul style="list-style-type: none"> ・1人1人のよさを言葉で言い，学級のみみんなで認め合う。 ・自他のよいところをミニお手紙に書いて認め合う。
学習規律	<ul style="list-style-type: none"> ・あたりまえ姿 ・すくすく大作戦 ・相互参観 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習ルールを決め，全校で重点を絞って指導する。 ・規則正しい生活習慣をつけるために親子でチェックする。 ・あたりまえ姿ができているかをお互いに見合う。

4 学校研究組織



5 学校研究計画

重点項目及び取組内容	
4月	<p>共通理解</p> <p>校内研修会（平成28年度 主題・研究計画・学習規律・指導案形式等） 校内研修会（要請：道徳講座「これからの道徳教育について」） 小中合同打合せ会（道徳連携の在り方, 合同研修会の計画, 発表会の持ち方 児童の実態把握（アンケート実施） 校内研修会（提案授業 要請：研究授業①4年 授業整理会, 改善点提示）</p>
5月	<p>実践</p> <p>校内研修会 要請：研究授業②③（3・5年）授業整理会, 改善点提示 道徳だより提案 ちょこっと参観①</p>
6月	<p>校内研修会 要請：研究授業④⑤（2・5年） ちょこっと参観② 計画訪問A（研究授業⑥ 授業整理会, 改善点提示） 小中合同打合せ会（道徳研究の進捗状況確認, 合同研修会の確認）</p>
7月	<p>校内研修会（研究授業⑦⑧⑨）（4・6年・おおぞら）授業整理会, 改善点提示 ちょこっと参観③ 小中合同研修会 講師 金沢工業大学教授 白木みどり氏 （道徳授業づくり 公開授業と分科会の内容への指導助言）</p>
8月	<p>検証</p> <p>校内研修会（1学期学校研究の実践の検証 修正） 共通理解 発表会指導案検討（全学級） 小中合同研修会（道徳研究の進捗状況確認, 発表会に向けての打合せ）</p>
9月	<p>実践</p> <p>校内研修会 要請：研究授業⑩⑪（1年・そよかぜ） ちょこっと参観④</p>
10月	<p>小中合同研修会 講師 金沢工業大学教授 白木みどり氏 （道徳授業参観 公開授業の展開, 分科会の持ち方への指導助言） ちょこっと参観⑤ 保護者向け道徳授業の公開（全学級） 小中合同打合せ会（発表会当日の確認）</p>
11月	<p>道徳公開授業（8日）全学級 ちょこっと参観⑥ 小中合同打合せ会（発表会の振り返り, 成果と課題, 改善策の確認）</p>
12月	<p>検証</p> <p>校内研修（2学期の取組の検証 成果と課題） 共通理解</p>
1月	<p>実践</p> <p>道徳授業改善 ちょこっと参観⑦</p>
2月	<p>小中合同研修会（本年度の成果と課題） 検証 研究のまとめ ちょこっと参観⑧</p>
3月	<p>共通理解</p> <p>平成29年度に向けた方向性の検討</p>

6 学校研究全体構想図

＜学校教育目標＞
「笑顔と元気 思いやり～何事にもチャレンジするたくましい児童の育成～」

＜研究主題＞
「主体的に考え、表現する児童をめざして」
～国語科の「書く」「話す」活動を通して～ 【国語】
～人とのつながりの中で考える道徳を通して～ 【道徳】

授業力改善

	国語科において	道徳において
つきたい力	書く力・話す力・聞く力・語彙力	話す力・聞く力・コミュニケーション能力
めざす児童像	根拠や叙述をもとに、自分の考えを書いたり話したりする子	友だちや家庭・地域社会の人とかかわりながら、自分の思いを表現する子
言語活動の充実		
取組の重点	① 主体的な学習 【学び+2】 (ペア・グループ学習での学び, 単元を貫く言語活動) ② 話す・聞く・話す活動の意識化 【学び+3】 (根拠や叙述にもとづいて話す・書く, 反応を返す,) ③ 「言葉の宝箱」の活用 (授業での活用, 授業外での活用)	① 主体的な学習 【学び+2】 (導入の工夫, 学習リーダーの活用, ペア・グループ学習) ② 多様な学習の工夫 (体験活動, 役割演技, 問題解決型学習, 映像資料, ゆさぶり発問) ③ 人とのつながり 【学び+9】 (ゲストティーチャー, 保護者参加型授業)

指導力向上

【学び+8】

学びの技・学習規律・生活習慣

- ・スキルタイム
- ・さんご樹教室
- ・ノート大作戦
- ・すくすく大作戦
- ・漢字検定
- ・家庭学習の手引き
- ・あたりまえ姿
- ・相互参観

意欲向上・人間関係づくり

- ・ほめ言葉シャワー
- ・きらきらメッセージ (児童間・教師児童間)
- ・道徳の足あと
- ・ふわふわ言葉

家庭・地域との連携

【学び+12】

- ☆道徳資料の家庭への持ち帰り (共に道徳について考える機会をもつ)
- ☆「道徳だより」の発行 (道徳授業の様子を保護者に知らせる)
- ☆「学習だより」の発行 (学習の様子を保護者に知らせる)
- ☆朝日中学校との連携 (研修会・研究発表会)